



# 校長室通信

## 「ピ・ノ・キ・オ」

9日(水)、火災避難訓練を実施しました。先々週の授業参観の際には、水害や地震等に際しての被災後の避難所運営について学びましたが、今回は、火災の場合にどのように身を守るかということに絞り込んだ訓練でした。担当の内田教諭が工夫した点は、昼休み中の実施にしたことと、逃げ遅れた生徒がいて避難生徒の確認が簡単にはできない状況を設定したこと等です。これは火災はいつ何時発生するのかわからず、必ずしも職員が生徒のそばにいる状況ばかりではないからです。生徒もですが、職員も様々な状況で、どのように対応すれば良いのか瞬時の判断力を問われました。

冬のこの時期は全国的にも火災が起きやすい状況です。出かけた先で火災に出くわすこともあります。自らの命や家族の命を守る力は折に触れて高めていかねばと思っています。タイトルの「ピノキオ」とは、初期消火に際しての注意事項です。どんな意味なのか、各ご家庭でお子さんに聞かれてみてください。それと共に火の元にはくれぐれもお気をつけください。



【麻生さんと鞭馬さん】



【本校卒業生の

矢津田さんと木山さん】

## 「1094」

この数字は、本町教育委員会の古庄昌勝指導主事が本校で育ててくださった6種類の花苗の合計数です。古庄指導主事は、週に二日間は本校勤務ですが、その勤務の合間に手がけていただいております。驚くことにその全てが種子から育ててのことです。今、その苗が花を咲かせつつあり、花壇やプランター等への移植作業の真っただ中。その作業には、2年生の吉野彩香さんや興侶教諭、沼田養護教諭も参加してくれています。冬色だった校庭が、一気に彩られつつあります。



【色のバランスなど工夫しました】

## 「町づくりを担う」

10日(木)、教育委員会の企画による「子ども会議」が開催され、三年生が参加しました。他の市町村でも同様の取組はありますが、それらは「子ども議会」という名称です。本町では平野議長いわく、生徒を一町民として対等の立場で意見を聴きたいという理由から、「子ども会議」という名称にしているとのこと。・・・呼び方の僅かな違いではあっても、そこには生徒一人一人を大切にしたいという思いが込められています。当日は、高橋町長はじめ、町執行部や議員の皆様にご温かく対応いただきました。課題に対して自分ならばどうしようと思うのか、主体的に考えることの大切さをあらためて学ばせてもらえました。



↑【会議の様子】↓

